

和文抄録

女性エリートアスリートのキャリア選択に与える影響要因の検討

順天堂大学大学院
スポーツ健康科学研究科
学籍番号：4119046
氏名：山田 優梨菜

【目的】

本研究の目的は、女性エリートアスリートの持つライフスキルがいつどのように獲得されたのかを明らかにし、引退後のキャリア選択に影響を及ぼすと考えられる要因について検討することであった。

【方法】

元女性エリートアスリート 17 名（うち 14 人がオリンピック）を対象とし、オンラインによる半構造化インタビュー及びライフスキル評価尺度（島本・米川, 2014）を援用したウェブ調査を行い、インタビューデータは GTA を用いて分析した。

【結果】

本調査の対象者のアイデンティティの再体制化レベルは 4 グループに分かれた。時間的展望と社会化予期の違いによって再体制化の程度も変化することが推測された。主体的なキャリア選択と他者によるサポートを経験したアスリートほど現在の役割に対するやりがいや生きがいを見出していることが確認された。

一方、引退後にキャリア移行するまでに目標の喪失による葛藤を経験する場合は多いことが明らかとなった。

ライフスキル調査の結果、本調査対象者がエリートアスリートであったためライフスキル獲得レベルは平均的に高く、グループ間での有意差は見られなかった。

【結論】

本調査結果から、アイデンティティの再体制化やセカンドキャリアの充実度に、社会化予期と時間的展望を加えた主体的なキャリア選択と他者によるキャリアサポートは、セカンドキャリア形成に影響を与える要因だと考えられる。しかし、アスリート自身が幼少期からアスリートとしての有限性を理解し、引退後について危惧し、他者によるサポートだけではなく主体性のあるキャリア選択を行うことでアイデンティティの再体制化につながると考えられる。